

みんなで 生きよう

かみ
神さまのこどもたち

ねん
2024年
ごう
32号

デザイン/MiKEtto

にほん きりすと ぎょうだん きょうういく い いんかい
日本キリスト教団教育委員会 編

げんきん ありごみ きき ぷりかえ 00150-8-27638
献金振込先： 振替 日本キリスト教団教育委員会



ぜんこく みな
全国の皆さん、クリスマスおめでとうございます！

イエス様の誕生をお祝いする季節です。今年はウクライナ、パレスチナのおともだち、能登、アイヌ、東北のおともだちをおぼえて献金をさげます。キリストの平和が世界の皆さんと共にありますように！

今年のクリスマス献金は 2024 年度

ウクライナの子どもたち

にんてい エス・ピー・オー・ほうしん
[認定NPO法人 チャイルド・ファンド・ジャパン]

2022年2月24日のロシア軍によるウクライナへの侵攻から、もうすぐ3年がたちます。ロシアとウクライナの戦争は今も続いていて、支援が必要な子どもは、290万人とされています。

<チャイルド・ファンドの支援活動>

①水と食糧の支給・衛生キットの配布 ②冬を越すための毛布やストーブなどの配布 ③子どもが安心して過ごせる「チャイルド・フレンドリー・スペース」づくり ④トラウマを抱えた子どもや親への対処ができるよう、避難所スタッフ・先生向けの研修や認定プログラムの実施。

ウクライナへの献金は今年で3年目になります。

今年のクリスマスも、困難な中にあるウクライナの子どもたちのために献金を送りましょう。

しきん ぶつしやう
支援物資を受け取る子どもたち



パレスチナ・ガザ地区の人々

アハリー・アラブ病院 (聖公会エルサレム管区運営)

パレスチナのガザ地区は、聖書にも登場する歴史ある地域です。しかし、イスラエル建国による深刻な対立により、紛争が絶えません。

2023年10月7日、イスラエルは、ハマスによる攻撃に対抗して、多くのパレスチナの人々が生活しているガザの住宅地へ、大量の爆弾を落としました。生きるために必要な食糧、水、電気、燃料がガザ地区に入らないよう封鎖しました。ガザ地区にある病院も爆撃され、病院に避難していた多くの市民が殺されました。今も紛争は終わらず、犠牲者は4万人を超え、70パーセント以上が女性と子どもです。施設も破壊され、薬や器具が足りない中でも医療活動が続けている、「アハリー・アラブ病院」を支援しましょう。



けがをして病院に運ばれた少年

クイズ

正解者にはクリアファイルをプレゼント!

占星術の学者が帰った後、ヨセフはイエスさまとマリアを連れてどこに避難したでしょう?

「起きて、子供とその母親を連れて、()に逃げ、わたしが告げるまで、そこにとどまっていなさい。」

▶ヒント
マタイ 2:13

① エジプト ② バビロン ③ ローマ

住所・名前・年齢・教会名を忘れずに。

しめきり 2025年1月31日 ファックス 03-3207-3918

送り先 日本キリスト教団教育委員会 宛
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-31

クリスマス献金



名前

金額

今年のクリスマス献金は日本のおともだち

【北陸学院キリスト教センター・支援窓口】
能登半島地震・支援活動のために

2024年1月1日、能登半島で大きな地震がありました。金沢市にある北陸学院では、大学生・高校生・教員が中心となり、金沢市内の避難場所での炊き出し支援、交流会&相談会、足湯ボランティアなどを行いました。2月後半からは、輪島市、能登町、珠州市の被災地域で、地震で壊れた



屋根瓦の片づけ

住宅の片づけなどを手伝いました。また、全国の大学生と能登をつなぐため、「北陸学院大学 被災地支援センター」を立ち上げました。地域教会とも協力し、ボランティアの受け

花をプレゼント



入れ拠点、被災者の安心につながる場所づくりを目指しています。子どもたちが体育館で思いっきり体を動かし、自分の気持ちを話し、想いを受け止めてもらえる場所、「みんなであそぼう!」も継続します。

【北海教区アイヌ民族情報センター】
アイヌ奨学金キリスト教協力会

アイヌ民族は昔から自然と共に生きてきました。その一方、日本から土地や文化、言葉、多くの権利を奪われてきました。1988年、苦しい状況に置かれているアイヌの子どもたちへ、奨学金の支援を始めました。今年は高校生5名、専門学生1名、大学生6名、指導者養成（とかちエテケカンパ、台湾原住民研修）に支援します。

【東北教区】
放射能問題支援対策室いずみ

2011年3月11日の東日本大震災。福島原子力発電所による放射能汚染。子どもたちの健康を守るために、2013年から活動しています。
①甲状腺検査や健康相談、②親子保養プログラム、③「子ども脱被ばく裁判」「311子ども甲状腺がん裁判」などの支援。これらの活動を支えるために、今年も献金をおさげしましょう。

2023年度

クリスマス献金報告

昨年度の献金は総額で5,917,711円（413件）。ありがとうございました。感謝して、以下の5か所に配分させていただきました。

- 認定NPO法人 チャイルド・ファンド・ジャパン《ウクライナ緊急支援》（150万円）
- 北海教区アイヌ民族情報センター・アイヌ奨学金キリスト教協力会（100万円）
- 東北教区放射能問題支援対策室いずみ（150万円）

追加支援として

- アハリー・アラブ病院（パレスチナ・ガザ地区）（30万円）
- 北陸学院キリスト教センター《能登半島地震の支援活動》（30万円）

* 残金は広報費などに用いました。